

「山形県小児保健会委託研究報告書」

1 研究者

山形県保健師長会 渡部順子（山形県最上保健所保健企画課）

2 研究テーマ

コロナ禍における乳幼児健診の実施状況についての振り返り （以下、「本研究」という。）

3 研究概略

（1）目的

令和2年に始まった新型コロナウイルス感染症の対応は、患者・接触者対策、予防活動のみならず、通常の保健事業にも影響を及ぼした。その中でも、成長発達のスクリーニング・相談の機会である乳幼児健診は、感染の急拡大・まん延期であっても実施の必要性が極めて高い事業であり、市町村では感染対策をしながら実施するために、方法・体制の変更等の工夫をしてきた。

そこで、今後の感染症まん延等への対応の参考とするため、コロナ禍での対応状況をアンケート調査により振り返ることとした。

（2）対象者（協力者）

・市町村に勤務する山形県保健師長会の会員

ただし、回答者は各自治体1名とし、会員の中に乳幼児健診の担当者がいない場合は、担当者の協力を得て回答するものとする。

（3）方法

・自記式質問票のメール送信により調査を行う。

・回答は自由意思、結果のまとめ・発表内容は個人・自治体が特定されない形式とすることを前提とし、回答をもって調査協力への同意を得たものとする。

（4）内容

① 乳幼児健診（3～5 か月、1.6 歳、3 歳）の実施形態（集団、個別）、コロナ禍の変更点（会場、時間、人数、受付、問診、計測、内科、歯科、健康教育等、その他）

② ICT（通信情報技術）の活用、コロナ禍での従事者別の調整・連絡等の配慮、コロナ禍で初めて実施したこと・気づき・意見等

4 結果

※自由記載欄のまとめ方

・文章を要約し、同趣旨の市町村はまとめて「…（市町村数）」で示している。

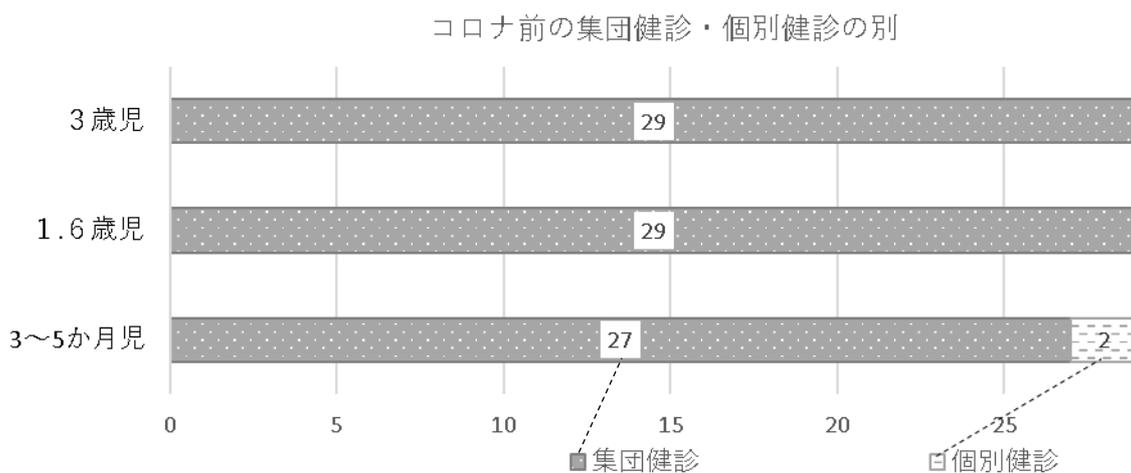
・同一市町村において、3～5 か月児健診・1.6 歳児健診・3 歳児健診で同じ対応等をしている場合は、“1”とカウントしている。

（1）回答率

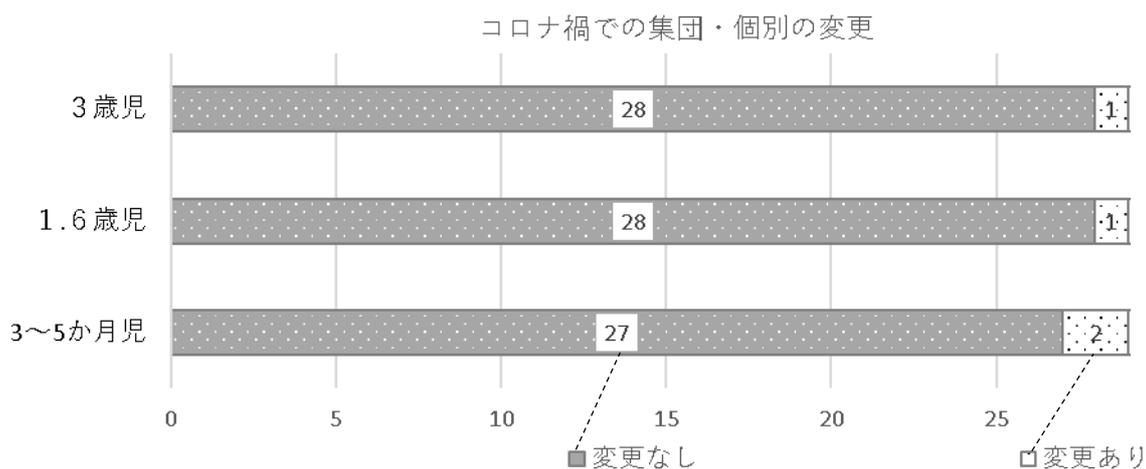
		(市町村)	対象数	回答数	回答率
計			35	29	82.9%
再掲	総人口 (令和4年10月1日)	30,000人以上	8	7	87.5%
		10,000~29,999人	13	9	69.2%
		9,999人以下	14	13	92.9%
	年間出生数 (令和4年)	200人以上	7	6	85.7%
		50~199人	13	9	69.2%
		49人以下	15	14	93.3%

(2) 健診の実施形態（集団・個別の別）

① コロナ前（R元年度）は集団健診・個別健診のいずれですか？



② コロナ禍で実施形態（上記①）を変更しましたか？



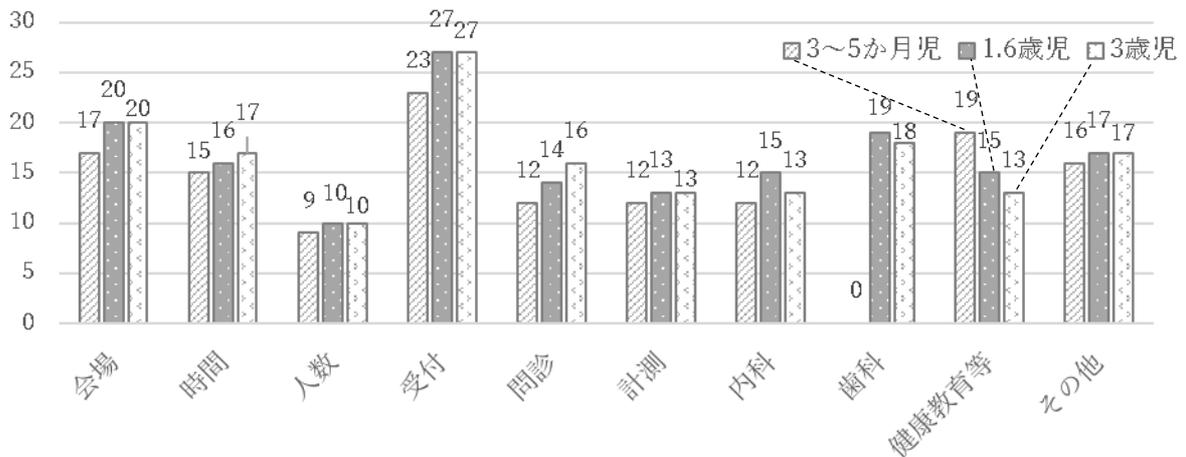
【変更内容（自由記載の要約）】

・集団健診から、個別健診（医療機関で）（一時的に）へ変更…2

(3) 集団健診で実施している場合

健診の時間・会場・流れ等について、コロナ禍で変更したことはありますか？（複数選択可）

(集団健診で実施している場合) コロナ禍での変更点



【会場：変更の概要（自由記載の要約）】

- ・部屋を増やした、会場を分けた… 6
- ・(人数に応じて) 会場変更… 3
- ・密を避ける環境調整、机の配置間隔を広く、マット・テープ等で1組ずつ間隔を空ける…11
- ・アクリル板・パーテーションでの仕切り… 6
- ・動線の変更、一方通行の流れ… 3
- ・換気… 4
- ・サーキュレーターを使用… 2
- ・手指消毒用アルコールの設置・励行… 8
- ・使用した物品の消毒・洗濯（1名ごと、終了後）…12

【時間：変更の概要（自由記載の要約）】

- ・受付時間を分ける…15
- ・健診時間全体の短縮… 6

【人数：変更の概要（自由記載の要約）】

- ・少人数グループに分ける（1グループを5～10名程度等）、受診人数の調整… 6
- ・付添いは原則1名、付添い（きょうだい含む）の制限… 6
- ・入場できる人数の制限、車での待機… 3
- ・1組ずつの誘導… 2
- ・緊急事態宣言期間中・感染状況に応じて延期… 2

【受付：変更の概要（自由記載の要約）】

- ・受診者の感染リスクが高い場合の受診自粛の声かけ… 2
- ・感染リスク・体調の確認、コロナ問診票（事前送付含む）…26
- ・体温計の設置、体温測定…13
- ・マスク着用の協力依頼… 5

- ・当日の流れの説明を全体アナウンスから個別説明に変更… 1

【問診：変更の概要（自由記載の要約）】

- ・母児の移動をなくし、従事者が移動して実施… 2
- ・従事者がマスク・フェイスシールドを使用… 6
- ・従事者との距離を空ける… 2
- ・グループ問診から個別問診への変更… 1
- ・対面から横並びへの変更… 1
- ・問診項目（絵本による質問含む）の変更・最小限化… 5
- ・問診用絵本・野菜果物フードモデルをやめた… 1
- ・問診用の積み木、ラミネート加工の絵カード使用で1人ごと消毒… 2
- ・玩具の消毒… 1

【計測：変更の概要（自由記載の要約）】

- ・バスタオル持参… 4
- ・計測ごとの物品・手指の消毒… 10
- ・計測ごとのディスポシーツの交換… 1
- ・従事者がマスク・ゴーグル・フェイスシールド・手袋を使用… 5

【内科：変更の概要（自由記載の要約）】

- ・（期間限定）医師を1名増員… 2
- ・診察ベッドのシーツを個人のバスタオルに変更… 6
- ・診察ごとのディスポシーツの交換… 1
- ・診察ごとの物品・手指の消毒… 4
- ・従事者（小児科医師、他）はマスク・ガウン・ビニールエプロン・ゴーグル・フェイスシールド・手袋を使用（「市町村では準備のみで、使用するかどうかは医師の判断」を含む）… 8
- ・母児の移動をなくし、従事者（医師、他）が移動して実施… 1
- ・診察室で受診児が重ならないよう誘導… 1

【歯科（1.6歳児・3歳児のみ）：変更の概要（自由記載の要約）】

- ・（期間限定）歯科医師・歯科衛生士を1名ずつ増員… 1
- ・フッ素塗布の中止、対象の限定化、別日程での希望制… 8
- ・フッ素塗布を健診時から個別歯科受診時に変更… 1
- ・診察時の（顔周りのシートを）個人のタオルに変更… 5
- ・診察ごとのディスポシーツの交換… 1
- ・歯鏡をディスポに変更… 1
- ・診察ごとの物品・手指の消毒… 3
- ・従事者（歯科医師、他）はマスク・ガウン・ゴーグル・フェイスシールド・手袋等を使用（「市町村では準備のみで、使用するかどうかは医師の判断」を含む）… 6
- ・歯磨き指導の中止… 3
- ・歯科指導を個別で実施… 1

- ・感染拡大時の歯科健診の中止… 1
- ・診察室で受診児が重ならないよう誘導… 1

【健康教育等：変更の概要（自由記載の要約）】

- ・集団教育（ブックスタート含む）の休止・中止… 7
- ・1グループの人数を減らす… 1
- ・集団から個別（希望者のみを含む）への変更… 11
- ・集合での遊びの中止… 1
- ・遊びの紹介のビデオを作成し集団での実践からビデオ上映に変更… 1
- ・時間の短縮、一部内容の簡素化・休止… 7
- ・パンフレット配布への変更… 4
- ・離乳食試食の中止、希望者のみ… 4

【その他：変更の概要（自由記載の要約）】

- ・従事者の感染リスク確認… 1
- ・従事者のマスク着用… 1
- ・従事者の増員… 1
- ・（時期によって）臨床心理士を1名増員… 1
- ・消毒・誘導等専門の職員の配置… 1
- ・（入手困難時期は）感染予防物品（アクリル板、フェイスシールド等）を手作りした… 1
- ・（冷暖房費の負担増より）換気を最優先とした（温度調整が難しかった）… 1
- ・待ち時間用の玩具・絵本の撤去… 3
- ・カーテン等の布製品の撤去… 1
- ・玩具の貸し借り中止… 1
- ・おむつ交換はできるだけ自宅で行うことへの協力依頼… 1
- ・（時期によって）スタッフのカンファレンスを中止… 1
- ・フッ素塗布を継続できるように、歯科衛生士とその都度検討し、最善策を実施… 1

（4）乳幼児健康診査の連絡・調整、その他

① ICT（情報通信技術）を活用していることはありますか？

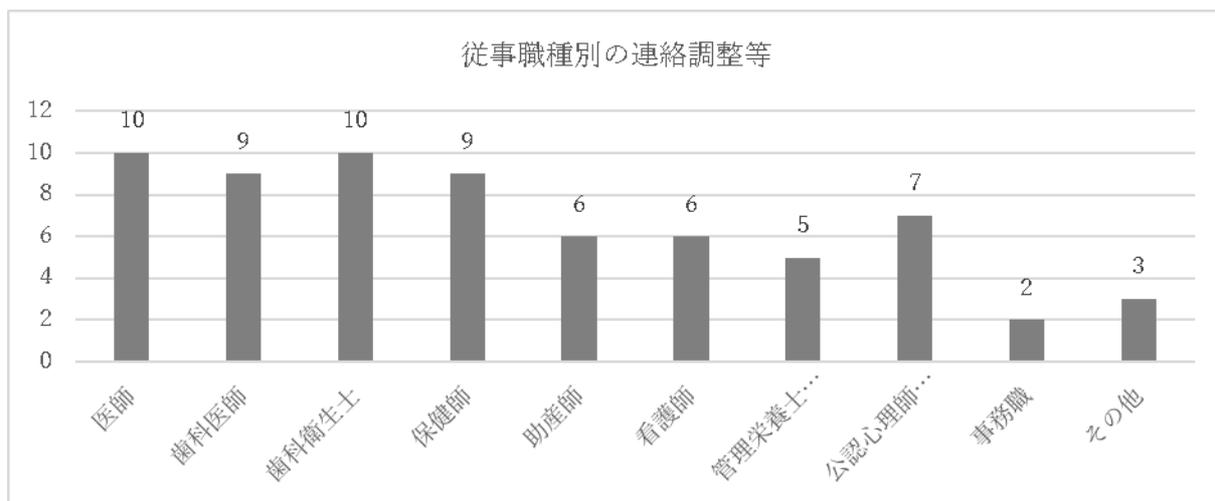
[市町村数] 活用あり：7 活用なし：22

【時期・内容（自由記載の要約）】

- ・母子手帳アプリ「母子モ」、子育て支援アプリの活用（健診・事業周知、オンライン相談等）… 6
- ・ラインでの次月の母子保健事業の周知… 1

② コロナ禍で従事者の調整・連絡等で配慮したことはありましたか？

困ったこと、またその解決策も検討・実施されていればご記入ください。



【医師：概要（自由記載の要約）】

- ・感染予防のための環境整備・必要物品の準備、コロナ禍での健診実施の変更点等の説明… 4
- ・健診延期等の相談・連絡・再調整… 4
- ・地域内の感染状況についての情報共有… 2
- ・コロナ禍での乳幼児健診に関する国の通知・感染対策等についての情報提供… 2
- ・医師の感染判明・体調不良時の調整… 2
- ・個別健診への変更依頼… 1
- ・医療機関の繁忙による時間調整… 1

【歯科医師：概要（自由記載の要約）】

- ・感染予防のための環境整備・必要物品の準備、コロナ禍での健診実施の変更点等の説明… 2
- ・健診延期等の相談・連絡・再調整… 3
- ・地域内の感染状況についての情報共有… 1
- ・コロナ禍での乳幼児健診に関する国の通知・感染対策等についての情報提供… 2
- ・歯科医師の感染判明・体調不良時の調整… 1
- ・フッ素塗布の中止についての歯科医師会との相談… 1

【歯科衛生士：概要（自由記載の要約）】

- ・感染予防のための環境整備・必要物品の準備、コロナ禍での健診実施の変更点等の説明… 3
- ・健診延期等の相談・連絡・再調整… 2
- ・地域内の感染状況についての情報共有… 1
- ・歯科衛生士の感染判明・体調不良・濃厚接触者該当時等の調整… 2
- ・他市町村の対応状況の情報共有… 1
- ・集団教育の休止の相談・連絡… 1
- ・健診時フッ素塗布中止の別途対応の相談… 1

【保健師：概要（自由記載の要約）】

- ・感染予防のための必要物品の準備… 1
- ・地域内の感染状況についての情報共有… 2
- ・保健師の感染判明・体調不良・濃厚接触者該当時等の調整… 4
- ・保健師の体調不良・濃厚接触者該当時等に備えての従事者数の増員… 2
- ・従事者数の増員… 2
- ・コロナ禍での実施方法変更についての情報共有・徹底… 1
- ・集団指導から個別対応への変更に伴う従事時間の超過… 1

【助産師：概要（自由記載の要約）】

- ・コロナ禍での実施方法変更についての相談・連絡… 1
- ・助産師の感染判明・体調不良・濃厚接触者該当時等の調整… 2
- ・集団指導から個別対応への変更に伴う従事時間の超過… 1

【看護師：概要（自由記載の要約）】

- ・地域内の感染状況についての情報共有… 1
- ・看護師の感染判明・体調不良・濃厚接触者該当時等の調整… 4

【管理栄養士・栄養士：概要（自由記載の要約）】

- ・地域内の感染状況についての情報共有… 1
- ・管理栄養士・栄養士の感染判明・体調不良・濃厚接触者該当時等の調整… 2
- ・延期・中止の場合の人数調整・連絡… 1
- ・集団指導から個別対応への変更に伴う従事時間の超過… 1

【公認心理師・臨床心理士：概要（自由記載の要約）】

- ・感染予防のための環境整備・必要物品の準備、コロナ禍での健診実施の変更点等の説明… 1
- ・地域内の感染状況についての情報共有… 1
- ・公認心理師・臨床心理士の感染判明・体調不良・濃厚接触者該当時等の調整（保健師が対応を含む）… 3
- ・公認心理師・臨床心理士の勤務先の方針により従事不可の場合の調整… 1

【事務職：概要（自由記載の要約）】

- ・事務職の感染判明・体調不良・濃厚接触者該当時等の調整（保健師が対応を含む）… 2

【その他：概要（自由記載の要約）】

- ・地域内の感染状況についての情報共有… 1
- ・延期・中止の場合の人数調整・連絡… 1
- ・体温測定・体調の確認、コロナ問診票のための従事者配置の増… 1

③ その他、コロナ禍で初めて実施したこと、気づき、意見等あればお教えてください。

【回答（自由記載の要約）】

- ・受診対象月齢を伸ばした。… 1
- ・1歳6か月児健診と3歳児健診の時期を1か月ずらしたことにより、一定期間対象者の月齢を

調整しなければならず、対象者選定と案内に苦慮した。… 1

- ・感染等により受診できず、法定の年齢ギリギリ・超えてしまうケースがあった。… 3
- ・複数健診を同時に開催した。… 1
- ・感染者・濃厚接触者等の理由で指定日に受診できなかった場合、翌月への変更や、他の乳幼児健診日程での調整（歯科診察の有無も考慮）（流れの変更）（従事者の増員）を行った。… 4
- ・未受診児や、コロナで健診が延期となった児については、健診を受診（または訪問対応）するまで勧奨し続けたので、要支援母児が増え、業務量は増える一方だった。… 1
- ・換気のため、特に冬期間は会場が寒かった。… 1
- ・健診会場では換気や空気清浄機を稼働し、アルコール消毒や子供用マスクを設置した。… 1
- ・限られた施設内で、密にならないように動線を考えることが大変だった。
- ・ケースによっては、別室対応した。… 1
- ・元々の健診対象人数も少なく、健診会場も広く部屋数も多いので、接触を避けるような配置や流れ等に配慮して対応した。歯科検診とフッ素塗布については、中止した事もあり。健診後の集団感染などが起こらないよう感染対策に留意し実施した。… 1
- ・少子化により、元々1回の健診人数が少ないため会場が密になることはなく、大きな変更を行わずに済んだ。… 1
- ・感染対策のための負担（時間、人員、身体的、精神的）が増えた。… 4
（コロナ前とは違う案内・日程変更に伴い通知などの発送、問合せ対応、会場準備・後片付け、受診者毎の消毒、従事者の個人防護具（ゴーグル、予防衣、手袋等）の準備 等）
- ・従事者が感染者・濃厚接触者等の理由で、従事者の確保が難しい時があった。… 2
- ・（医師と協議等の上）感染状況により健診を実施するかどうか判断するのが大変だった。… 1
- ・管内・市町村内、特に保育園・小学校・中学校等の感染状況を把握し、健診実施についての判断を相談しながら実施した。… 1
- ・感染状況に合わせ、健診時の感染対策を検討しながら実施する事への不安があった。… 1
- ・ソーシャルディスタンスを確保するための工夫をしても、子供達は動き回るため距離を取ること自体がとても難しかった。… 1

- ・感染が国内に蔓延し始めた当初、消毒用アルコール・マスクなど衛生材料品の確保も難しかった。… 1
- ・感染対策（換気・正しい手洗い・手指消毒、物品の消毒など）の必要性を改めて実感し、意識が高まった。… 3
- ・コロナ対応のための感染対策（会場、従事者数等）が定例化し、元の健診体制に戻せなくなっている。来所者にとっては、望ましい体制だと思うが、職員の体制も含め、どのようなやり方が本来あるべき乳幼児健診なのか、再検討が必要だと感じている。… 1
- ・感染対策として対象者の受付を1回から3回に分けたことにより、対象者も従事者も落ち着いた雰囲気となり、穏やかに事業を実施することが出来た。… 1
- ・健診を少人数クールの実施に切り替えて行ったことで、待ち時間が短い等の参加者のメリットもあり、これまでと違った方法への転換の機会となったと思う。… 1
- ・コロナ禍となったことでこれまでのやり方の効率化が図られた。… 1
- ・健診の案内文に、感染状況により開催が延期となる可能性があること、風邪症状等がある方や家族に感染の疑いがある方がいる方は受診を控えていただきたいことを明記。… 1

- ・感染機会を減らすために、問診や保健指導をなるべく短時間ですることにより重きをおいた時期もあった。ポイントをしぼりながらもきちんと話を聞きとる、支援するということがとても難しかった。…1
- ・法定外の健診相談（1歳未満の設定）は、R2年4～5月 国の緊急事態宣言中は中止にし、相談時に配布するパンフ（離乳食の進め方他）を送付した上で対象者全員に電話をかけ相談に応じたが、離乳食完了に向け進め方がわからない等の声も聞かれた。R4年1～2月 県の緊急事態宣言中は延期とし解除後は実施回数を増やし、多少月齢は過ぎたものの従来の相談来所まで対応している。…1
- ・（未知の）感染症まん延の中で、業務をどう継続したら良いのか不安であったが、対策を医師や保健所の指導、助言のもと対応できたことがとてもありがたかった。…1
- ・おもちゃの消毒機器について情報をいただき、購入した。…1

5 考察

- コロナ禍で健診の形態を変更したのは、3～5か月児健診：2市町村、1.6歳児健診：1市町村、3歳児健診：1市町村のみで、いずれも集団から個別への変更であった。厚生労働科学特別研究(2020)⁽¹⁾の中で、市町村が集団健診を個別化しなかった体制や制度上の理由では、「『個別健診に対応できる医療機関が十分でない』と『予算上対応できない』が半数を超えた」としている。本研究では、集団健診を個別化しなかった理由について調査を行っていないが、同様の状況はあったと思われる。

ただし、会場・時間・人数等の変更点及び内容の記載を見ると、市町村の担当者が様々な角度から創意工夫して感染予防策をとっており、感染経路に応じた対策をとれば集団健診が可能であることを実践できたと考える。なお、自由記載欄には「元々の健診人数が少ない」の回答もあり、各市町村のおかれている状況によっても理由は異なる。

- 集団健診での変更が半数以上（15以上）の市町村だった項目は、「会場」・「時間」・「受付」・「歯科（3～5か月児を除く）」が3つ全ての健診で、「問診」は3歳児健診、「内科」は1.6歳児健診、「健康教育等」は3～5か月児健診と1.6歳児健診であった。これは、感染リスクの高い対象者・感染経路・健診項目の特異性等への対応の結果であると思われる。近距離の対面でしか実施できない項目は、感染リスクの評価（距離・時間・マスク有無等）・感染した場合の不利益の大きさ等を考慮して実施するかどうかの判断が求められる。

三重県子ども・福祉部子育て支援課(2021)⁽²⁾は「保護者同士の交流時間の減少」を今後の課題にあげている。健康教育などの集団による相互作用が期待できる項目は、課題解決方法の中でも保健師の強みである「つなぐ（マネジメント）」・「動かす（ソーシャル・キャピタル）」が生かされる場面である。受診者同士の交流を中止することは、感染対策としてはより安全で受診者の安心につながるが、受診者自身にとってもせっかくの機会がなくなるため、実施か中止かの判断が難しいと思われる。

- ICTについては、健診・事業の周知やオンライン相談の活用が7市町村あった。気軽さ・便利性・効率性、導入の費用・周知、反応・表情の把握など一長一短はあると思われるが、こども家庭庁もデジタル化推進事業を行うなど、社会全体がICTの活用を進めており、感染対策の面での長所も大きいことから、今後も活用が増えていくものと考えられる。
- コロナ禍の従事者の調整・連絡等では、「感染予防のための環境整備・必要物品の準備、コ

ロナ禍での健診実施の変更点等の説明」・「健診延期等の相談・連絡・再調整」はもちろんのこと、「(従事者自身の) 感染判明・体調不良・濃厚接触者該当時等の調整」に苦慮したことがうかがえた。医師・歯科医師等、外部から1名のみ依頼している場合はとくに難しい。

- その他の自由記載には、緊急事態宣言や療養・待機期間のために本来の対象時期から外れてしまったり、急な変更等の連続で業務量が増えるばかりとか、いくらソーシャルディスタンスを確保しても子どもは動き回るのでとても難しかった、等の「苦労」という一言で片づけてはいけない日々だったことがうかがわれた。

一方では、健診の実施方法全体を見直す機会になったことや、実際のメリットにつながった状況も複数の市町村から回答があった。コロナ禍の対応は非常に大きな負担であったことは間違いないが、感染予防策の基本・全体の流れ・各健診項目の内容等を見直すことで、感染面の安全性の向上・健診実施の効率化・環境整備が図られたものとする。

6 参考文献

- (1) 厚生労働科学特別研究. 感染症流行下における適切な乳幼児健康診査のための研究. 令和2(2020)年度
- (2) 三重県子ども・福祉部子育て支援課. 新型コロナウイルス感染症による母子保健事業への影響について. 令和3(2021)年度